



研磨大王™ 取扱説明書 (φ30、φ80、φ125)

研磨用 清掃用

使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。読み終わった後は本製品の近くに常に保管し、作業者がすぐに参照できるようにしてください。

製品の仕様と選び方

仕様

- 【φ30】 正味量：15g/個、成分：樹脂および酸化アルミニウム(研磨部)、金属類(軸部、フランジ部)
- 【φ80】 正味量：10g/個、成分：樹脂および酸化アルミニウム(研磨部)、ナイロン(面ファスナー部)
- 【φ125】 正味量：55g/個、成分：樹脂および酸化アルミニウム(研磨部)、ナイロン(面ファスナー部)
- 【鏡・ガラス用】 成分：樹脂および酸化セリウム(研磨部)
- 本製品には可燃性の物質は使用されておりません。
- 各製品に80番手～3000番手までのパリエーション、および鏡用があります。
- パッケージに記載の用途以外にも、以下の図を参考に様々な被削材にご使用いただけます。
- 80番手は研磨力が強い素材に研磨目が入る可能性があります。

対象被削材

- ステンレス (SUS)
- 金属 (鉄系)
- 石材
- 非鉄金属 (アルミ、真ちゅう)
- 樹脂
- 陶器
- 鏡
- ガラス など

研磨力 強		番号						鏡/ガラス専用 キズ補修用 酸化セリウム配合	
番号 粗		番号						鏡/ガラス専用 キズ補修用 酸化セリウム配合	
#80	#120	#240	#400	#800	#800	#1200	#3000	白	
紫	茶色	赤色	オレンジ	黄色	黄緑	緑	青	白	
ステンレス、鉄、非鉄金属(アルミ・真鍮)、樹脂									
石材、陶器				人工大理石					
						鏡・ガラス			

動画もご覧ください

ウェブサイトで取り付け方法やコツなどの動画をご覧ください。右記QRコードからアクセスしてください。



警告 および 作業者の安全対策

右記QRコード記載の内容を必ずお守りください。



使い方

使用上の注意

- 本製品は、本製品に含んだ水分が少ない状態(以下、「ドライ状態」とする)での使用は**推奨しません**。**本製品に水を十分に含ませたウェットな状態でご使用ください**。
- 使用中は、本製品および被削材がドライ状態にならないように、必要に応じて水をかけてください。
- 電動工具本体には水をかけないでください。
- ご使用中は本書を保管し、本書記載の内容を必ずお守りください。
- 使い始めは目立たないところで傷がつかないことを確認してからご使用ください。
- 強く擦りすぎると傷が深くつく恐れがあります。
- 対象素材以外や塗装面、コーティング面には使用しないでください。ドライ状態で使用すると、高温になることがあります。使用時間を調整するとともに、作業中および直後の研磨部位に触れないようにしてください。怪我をする恐れがあります。
- 本製品にゴミなどの異物がついた状態で使用すると、対象素材を傷つける恐れがあります。ご使用後は床に置かず、乾燥させた後にパッケージにお戻しください。
- 本製品を火や熱源のそばに置かないでください。
- 小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 廃棄時は各自自治体の定める方法にしたがってください。
- 被削材が鏡の場合は力を入れすぎると割れることが想定されます。下記に記載する「研磨の手順」にしたがって作業を行ってください。

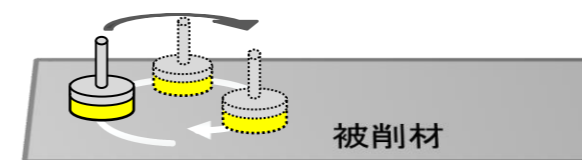
作業の進行に伴い、次の状態になる可能性があります。

ご使用者様の責任において、本製品および被削材の状態を適宜確認してください。

- 塗装された被削材の表面が剥がれる。(特に、番手が荒い製品や加圧しすぎた場合)
- 本製品および被削材で色移りが発生する。(特に、紙や木材など)
- 樹脂など、壊れやすい被削材に破損が発生する。

研磨の手順

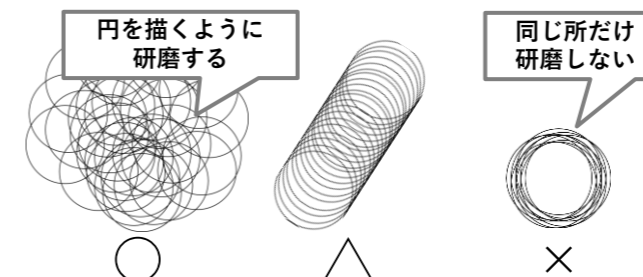
- ① 被削材および本製品の研磨パッド部に、水を十分にスプレー噴霧する
 - 噴霧した部分が「ひたひたになる程度」でご使用ください。
 - 十分に水を含んでいれば、目詰まりはしにくいです。
- ② 本製品の平たい面かつ全面を、被削材に平行に、軽く押しあて使用する



- ③ 汚れが落ちるまで、対象物を本製品で繰り返し擦ってください。

上手に使うコツ

- 広い研磨面にはより直径が大きな製品を、狭い場所や曲面にはより直径の小さな製品を使用します。
- 同じ所だけ研磨することなく、全体を均一に研磨することで仕上がりは良くなります。(下図)



- 使用に伴い研削粉が目詰まりした場合は、食器洗いスポンジの汚れを取るように、強アルカリ電解水で洗うか、硬い荒れた面(電着やすりなど)に軽く押し当てると新しい目を出すことができます。

工具への取り付け

電動工具の取扱説明書を参考に、本製品を取付部に確実に固定してください。

電動工具への取り付け例

円形(ディスクタイプ)の場合



円形(軸付タイプ)の場合



推奨電動工具：バンガードマイクログラインダー UCV900 (当社製) への取り付け例



研磨大王™ 取扱説明書（手作業用ファスナー付、手作業用ハーフ）

研磨用

清掃用

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。読み終わった後は本製品の近くに常に保管し、作業者がすぐに参照できるようにしてください。

製品の仕様と選び方

仕様

- 【ハーフ】正味量：6g/個、成分：樹脂および酸化アルミニウム（研磨部）。
- 【ファスナー付】正味量：15g/個、成分：樹脂および酸化アルミニウム（研磨部）、ナイロン（面ファスナー部）。
- 本製品には可燃性の物質は使用されておりません。
- 各製品に80番手～3000番手までのバリエーションがあります。
- パッケージに記載の用途以外にも、以下の図を参考に様々な被削材にご使用いただけます。
- 80番手は研磨力が強い素材に研磨目が入る可能性があります。

対象被削材

- ステンレス（SUS）
- 金属（鉄系）
- 石材
- 非鉄金属（アルミ、真ちゅう）
- 樹脂
- 陶器
- 鏡
- ガラス など

研磨力 強		番手						弱
番手 粗								細
#80	#120	#240	#400	#800	#800	#1200	#3000	鏡/ガラス専用 キズ補修用 酸化セリウム配合
紫	茶色	赤色	オレンジ	黄色	黄緑	緑	青	白
ステンレス、鉄、非鉄金属(アルミ・真鍮)、樹脂								
石材、陶器			人工大理石					
								鏡・ガラス

動画もご覧ください

ウェブサイトで取り付け方法やコツなどの動画をご覧いただけます。右記QRコードからアクセスしてください。



警告 および 作業者の安全対策

右記QRコード記載の内容を必ずお守りください。



使い方

使用上の注意

- 本製品は、本製品に含んだ水分が少ない状態(以下、「ドライ状態」とする)での使用は**推奨しません**。**本製品に水を十分に含ませたウェットな状態でご使用ください。**
- 使用中は、本製品および被削材がドライ状態にならないように、必要に応じて水をかけてください。
- 電動工具本体には水をかけないでください。
- ご使用中は本書を保管し、本書記載の内容を必ずお守りください。
- 使い始めは目立たないところで傷がつかないことを確認してからご使用ください。
- 強く擦りすぎると傷が深くつく恐れがあります。
- 対象素材以外や塗装面、コーティング面には使用しないでください。ドライ状態で使用すると、高温になることがあります。使用時間を調整するとともに、作業中および直後の研磨部位に触れないようにしてください。怪我をする恐れがあります。
- 本製品にゴミなどの異物がついた状態で使用すると、対象素材を傷つける恐れがあります。ご使用後は床に置かず、乾燥させた後にパッケージにお戻しください。
- 本製品を火や熱源のそばに置かないでください。
- 小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
- 廃棄時は各自治体の定める方法にしたがってください。
- 被削材が鏡の場合は力を入れすぎると割れることが想定されます。下記に記載する「研磨の手順」にしたがって作業を行ってください。

作業の進行に伴い、次の状態になる可能性があります。
ご使用者様の責任において、本製品および被削材の状態を適宜確認してください。

- 塗装された被削材の表面が剥がれる。（特に、番手が荒い製品や加圧しすぎた場合）
- 本製品および被削材で色移りが発生する。（特に、紙や木材など）
- 樹脂など、壊れやすい被削材に破損が発生する。

研磨の手順

- ① 被削材および本製品の研磨パッド部に、水を十分にスプレー噴霧する
 - 噴霧した部分が「ひたひたになる程度」でご使用ください。
 - 十分に水を含んでいれば、目詰まりはしにくいです。
- ② 本製品の平たい面かつ全面を、被削材に平行に、軽く押しあて使用する



- ③ 汚れが落ちるまで、対象物を本製品で繰り返し擦ってください。

※折りたたんでのご使用は避けてください。
 割れや破損などによる製品寿命悪化の原因になります。

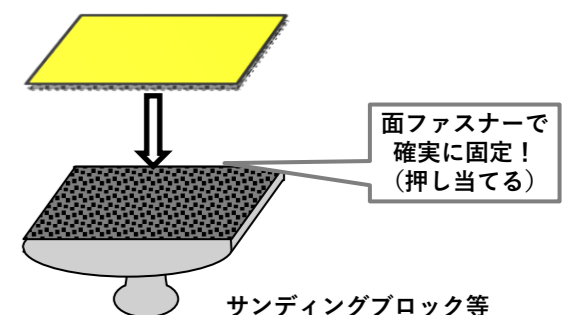
上手に使うコツ

- 広い研磨面にはより大きな面ファスナー付きを、狭い場所や曲面にはより小さな製品（ハーフ）を使用します。
- 同じ所だけ研磨することなく、全体を均一に研磨することで仕上がりは良くなります。
- 使用に伴い研削粉が目詰まりした場合は、食器洗剤スポンジの汚れを取るように、強アルカリ電解水で洗うか、硬い荒れた面（電着やすりなど）に軽く押し当てると新しい目を出すことができます。

工具への取り付け

本製品は、工具などに取り付けずそのまま手作業用としてご使用いただけます。
 75mm x 100mmの面ファスナー付きのタイプは、ハンドパッドや電動工具に取り付けてご使用いただく事も可能です。その場合は、工具の取扱説明書を参考に、本製品を取付部に確実に固定してください。

面ファスナー付の場合



サンディングブロック等
推奨ツール：サンディングブロック等、手作業用ツールへの取り付け例